

2022 春季生活闘争・妥結情報

2022. 3. 25 — 第 7 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2022 年春季生活闘争 第 2 回回答集計結果について

連合本部は、2022 年春季生活闘争につき、3 月 24 日（木）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計について、次のとおり発表した。

- 平均賃金方式で回答を引き出した 1,237 組合の加重平均は 6,452 円・2.13%（昨年同時期比 937 円増・0.32 ポイント増）となった。第 1 回回答集計（6,581 円・2.14%）の水準を維持している。

賃上げ分が明確に分かる組合の賃上げ分は、全体および 1,000 人以上の組合で昨年同時期比マイナスになっているが、999 人以下の組合はすべての規模区分で昨年同時期を上回っている。300 人未満の中小組合 309 組合の賃上げ分は 1,626 円・0.62%（同 418 円増・0.15 ポイント増）で、第 1 回回答集計に続き額・率とも全体を上回っている。

先行組合が作り出した「賃上げの流れ」を中堅・中小組合がしっかりと引き継ぎ、「人への投資」と月例賃金にこだわって粘り強い交渉を行った成果と受け止める。

- 第 2 回回答集計として初めて、要求状況・妥結進捗状況を集計した。3 月 24 日時点で 4,720 組合が要求提出済み、うち月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した 3,851 組合中 1,025 組合が妥結済みである。その半数で賃金改善分を獲得している。

連合北海道は、3 月 25 日（金）16 時時点で取りまとめた回答の集計を行った

○回答引き出し組合が少数であるため単純に比較はできないものの、月例賃金の加重平均は、5,818 円・2.13%（昨年同時期比 812 円減・0.3 ポイント減）となった。

○300 人以上では、額・率ともに昨年同時期を下回ったが、全国の率を上回っている。

○300 人未満の中小組合では、額で昨年同期比を下回ったものの、わずかではあるが率では昨年同時期比増となり、全国の率も上回っている。

○全国の第 2 回集計結果と比べると、全体の金額では 2 年ぶりに下回ったものの、率で見ると、全体では同水準、300 人未満・以上ともに上回る結果となった。

【組合規模別賃上げ状況 2022 年 3 月 25 日 連合北海道集計】

| 組合規模 | 集計 組合数 | 対象組合 人数 | 加重平均妥結額 (定昇・ベア込み) | 昨年実績額 (定昇・ベア込) | 昨年比 |
|---------|-----------|------------|----------------------|-------------------|-----------------|
| 300 人未満 | 13 組合 | 1,502 人 | 2,998 円 (1.99%) | 3,443 円 (1.93%) | ▲445 円 (0.06%) |
| 300 人以上 | 11 組合 | 20,399 人 | 5,973 円 (2.14%) | 6,800 円 (2.44%) | ▲827 円 (▲0.30%) |
| 計 | 24 組合 | 21,901 人 | 5,818 円 (2.13%) | 6,630 円 (2.43%) | ▲812 円 (▲0.30%) |



◎2022 年春季生活闘争北海道集計へのエントリー未報告の産別・地区ユニオンは、至急報告をお願いします。

◎要求・回答・妥結情報を連合北海道 2022 年春季生活闘争本部までお知らせ下さい。

担当：山田・勝又・小野寺・渡辺・（TEL:011-210-0050 FAX:011-272-2255）